



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月12日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 大
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 (TEL) 03(5212)5212
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績 (平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	344	104.1	△53	—	△84	—	△90	—
23年11月期第1四半期	168	5.1	△52	—	△82	—	△125	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期△74百万円 (—%) 23年11月期第1四半期△119百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	△2.47	—
23年11月期第1四半期	△3.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第1四半期	8,293	1,253	15.1	33.98
23年11月期	8,629	1,328	15.3	36.00

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 1,250百万円 23年11月期 1,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成24年11月期の連結業績予想 (平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	470	27.3	△70	—	△125	—	△127	—	△3.45
通期	845	0.3	165	461.8	54	—	50	△24.6	1.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無
② ①以外の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期1Q	37,067,371株	23年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	24年11月期1Q	277,500株	23年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期1Q	36,789,871株	23年11月期1Q	35,361,300株

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年12月1日～平成24年2月29日）における国内経済は、東日本大震災の影響もあり引き続き厳しい状況が続いておりますが、復興関連需要の高まりから設備投資が緩やかに持ち直しているほか、個人消費にも復調の動きがみられました。

当社グループの主要事業である不動産業界では、J-REITや事業会社において国内不動産物件を取得する動きが見受けられるものの、企業の景況感の悪化から都心のオフィス物件に対する需要は低迷いたしました。一方で、当社グループが強みとするレジデンシャル物件に対する需要は底堅く推移いたしました。また、国内株式市場では、高止まり傾向にあった円が下落したことに加え、欧州債務危機への過度な不安心理の後退や日銀の追加金融緩和策も相まって、TOPIXは平成23年8月以来となる800ポイントを回復する等活発な値動きとなりました。

こうした状況の下、アジア事業においては、かねてより設立準備を進めておりました中国のフォーチュンリンク社との合弁会社を12月に設立いたしました。今後は、この合弁会社を通じて中国マーケットへの進出を企図する日本の中堅企業を支援するファンドの組成を進めてまいります。また、不動産事業においては、保有する不動産物件の売却を推し進め、有利子負債及びたな卸資産の圧縮に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高344百万円（前年同四半期比104.1%増）、営業損失53百万円（前年同四半期の営業損失は52百万円）、経常損失84百万円（前年同四半期の経常損失は82百万円）、四半期純損失90百万円（前年同四半期の四半期純損失は125百万円）となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末におきまして、当社グループが運用するファンド運用資産残高は171億円（一部円換算US\$1.00=80.68円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は317億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー等を計上したほか、ファンド組入れ物件の売却によりディスポーザルフィーを計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。その結果、アセットマネジメント事業においては、売上高76百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業損失0百万円（前年同四半期の営業損失は35百万円）となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、保有物件の売却による収入及び当社グループが匿名組合出資を行っている特別目的会社（SPC）等が保有する不動産等からの不動産賃貸収入を計上いたしました。証券投資等部門では、㈱FCインベストメント・アドバイザーズにおいて金融商品仲介業務による収益を計上いたしました。その結果、インベストメントバンク事業においては、売上高267百万円（前年同四半期比185.3%増）、営業損失5百万円（前年同四半期の営業利益は10百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比370百万円減の7,777百万円となりました。これは、現預金の増加等、たな卸資産の減少等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比34百万円増の516百万円となりました。これは、保有有価証券の時価上昇、中国の合弁会社への出資によるものであります。

以上の結果、資産の部は8,293百万円となり、前連結会計年度末比335百万円減となりました。

(負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比258百万円減の5,855百万円となりました。これは、借入金の返済等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比3百万円減の1,184百万円となりました。これは、長期未払金の支払い等によるものであります。

以上の結果、負債の部は7,039百万円となり、前連結会計年度末比261百万円減となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比232百万円減の6,654百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産の部は1,253百万円となり、前連結会計年度末比74百万円減となりました。これは、四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月13日付で開示いたしました平成24年11月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想は、足元の業績を踏まえ、平成24年4月12日付で売上高のみ修正しております。詳細につきましては、平成24年4月12日付で開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、平成24年11月期の通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項ありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027	1,341
売掛金	68	53
未収入金	464	13
有価証券	10	13
営業投資有価証券	8	7
販売用不動産	4,218	3,992
仕掛販売用不動産	2,330	2,330
その他	19	24
流動資産合計	8,147	7,777
固定資産		
有形固定資産	27	26
無形固定資産	1	1
投資その他の資産		
投資有価証券	362	387
その他	746	757
貸倒引当金	△657	△657
投資その他の資産合計	451	487
固定資産合計	481	516
資産合計	8,629	8,293
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,850	1,839
1年内返済予定の長期借入金	3,885	3,673
1年内償還予定の新株予約権付社債	250	250
未払金	27	19
未払法人税等	38	4
その他	62	69
流動負債合計	6,113	5,855
固定負債		
長期未払金	1,150	1,141
その他	37	43
固定負債合計	1,187	1,184
負債合計	7,301	7,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	609
利益剰余金	△399	△490
自己株式	△15	△15
株主資本合計	1,326	1,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	16
為替換算調整勘定	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	△1	14
少数株主持分	3	3
純資産合計	1,328	1,253
負債純資産合計	8,629	8,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	168	344
売上原価	57	263
売上総利益	111	80
販売費及び一般管理費	163	133
営業損失(△)	△52	△53
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
その他	2	0
営業外収益合計	4	0
営業外費用		
支払利息	32	32
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	34	32
経常損失(△)	△82	△84
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
事務所移転費用引当金繰入額	42	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△124	△84
法人税、住民税及び事業税	0	3
法人税等調整額	△0	3
法人税等合計	△0	6
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125	△90
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純損失(△)	△125	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125	△90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	16
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	6	16
四半期包括利益	△119	△74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119	△74
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント 事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	74	85	7	168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	△11	—	△8
計	78	74	7	160
セグメント利益又は損失 (△)	△35	11	△0	△24

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	△24
セグメント間取引消去	8
全社費用（注）	△35
四半期連結損益計算書の営業損失	△52

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネジメント 事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	76	260	6	344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	—	3
計	79	260	6	347
セグメント利益又は損失 (△)	△0	△5	0	△5

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額 (百万円)
報告セグメント計	△5
セグメント間取引消去	△3
全社費用 (注)	△44
四半期連結損益計算書の営業損失	△53

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。